

重要取組シート

ICT イノベーション推進室

取組項目		データ・生成 AI 利活用の推進
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> ○将来にわたり人口の減少・現行体制の維持が困難になるなかにおいても持続可能な市政運営を行うためには、DX を推進する必要がある。 ○DX を推進する上では、デジタル化で収集したデータを活用し、生成 AI などの各種ツールを活用して、業務プロセス全体の見直しや新たな価値の創出につなげることが重要である。 ○データについては、全庁的な行政データの流通、利活用が進んでいるとは言えず、活用可能なデータが限定されている。 ○生成 AI の利活用については、庁内での利用環境が整備されているが、今後より一層の業務への適応を進め業務効率化に繋げる必要がある。 ○日進月歩で進化するデジタル技術やデータの重要性を理解し活用できるように、市職員のリテラシーを向上させることが肝要である。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> ○データ利活用の推進 庁内でのデータ利活用の機運醸成を図るため、政策企画部と連携して、堺市基本計画の KPI（パイロット事業 5 件）でデータ分析を行う。あわせて、庁内でのデータ共有・利活用が進むよう、他都市等のデータ活用ルールを調査し、庁内ルール化を検討する。 ○生成 AI の利活用の推進 業務での生成 AI 利活用を進めるため、全庁で使える優良プロンプトを引き続き追加・共有する。今年度は、他都市事例や有識者から情報を収集し、役職者にも利活用を広げるほか定期的な活用相談窓口を開設して利用率の向上を図る。また特化型生成 AI（ツール）についても随時調査を行う。
スケジュール	前期 (~9月)	<ul style="list-style-type: none"> ○データ利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> □ (4月) BI ツールの試験的導入・操作研修 □ (4月~8月) パイロット事業 5 件のデータ収集・分析支援 □ (5月) 令和 8 年度データ利活用の取組方針報告 (ICT 戦略推進本部会議) □ (~8月) パイロット事業 5 件のとりまとめ報告 □ (9月~) データの棚卸と一覧化の検討、データ活用ルールの調査 □ (随時) 研修動画・取組事例の共有 ○生成 AI の利活用 <ul style="list-style-type: none"> □ (随時) 研修実施 □ (随時) 生成 AI 活用ガイドブック更新 □ (随時) 他都市事例、有識者、ツール調査 □ (定例) 生成 AI 活用相談
	後期 (~3月)	<ul style="list-style-type: none"> ○データ利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> □ (~10月) パイロット事業の施策立案・予算要求支援 □ (10月~) 次年度事業方針検討 □ (2月) EBPM 事例の報告及び次年度以降の取組決定 (ICT 戦略推進本部会議)

		<input type="checkbox"/> (～3月) データ一覧表の作成、データ活用ルールの素案検討 <input type="checkbox"/> (随時) 研修動画・取組事例の共有 ○生成 AI の利活用 <input type="checkbox"/> (随時) 研修実施 <input type="checkbox"/> (随時) 生成 AI 活用ガイドブック更新 <input type="checkbox"/> (随時) 他都市事例、有識者、ツール調査 <input type="checkbox"/> (定例) 生成 AI 活用相談	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> データ利活用環境の整備・データ活用ルール(素案)策定 <input type="checkbox"/> 生成 AI 活用事例の拡充(継続)	
進捗の状況	前期(～9月)		
	後期(～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する施策	4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上	
	寄与する KPI	my door OSAKA の利用登録者数 [現状値: 2,641人(2024年度)]	目標値(2030年度) 60,000人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正をすべての人に
	寄与する KPI	-	目標値(2030年度) -